

2013年10月27日

学長 尾池和夫

## 2014年度 コミュニケーション入学 入学前学習プログラム 開講式 式辞

京都造形芸術大学の夏期コミュニケーション入学、秋期コミュニケーション入学の皆さん、まことにおめでとうございます。京都造形芸術大学の教職員を代表して、心からお祝い申し上げます。

今日この開講式に参加された皆さんは、本学の方針に従って入念に準備され、時間をかけて実施された入学試験を、見事に通過してこられた方たちであります。皆さんには、そのことを大きな誇りとして、志を高く持って学習に取りかかっていたいただきたいと思います。

本学は「芸術的創造と哲学的思索によって良心を手腕に運用する新しい人間観、世界観の創造」という建学理念を掲げて設立された大学であります。この建学の理念をもとに、本学の教育目標は「芸術を社会に活かすことのできる人材の育成」という言葉で示されています。この教育目標をさらに具体的に言うと、皆さんが、これから芸術を学習する中で、自分の考えていることを作品で表現する技術を学ぶということも大切ですが、その前に、社会で通用する人として活動できるための、基礎的な力を身につけることが大切だということです。本学ではこの基礎的な力を「人間力」と呼んでいます。その人間力を身につけるために、芸術によって社会に貢献しようとする高い志と意欲を持ち、自立した人として、他者と協調し、協働しながら、芸術的創造活動を展開できる力を養うことをめざします。

本学は、2014年度の、コミュニケーション入学試験の受け入れ方針で、5つの望ましい姿を皆さんに示しました。それらは、

1. 京都造形芸術大学で自分の可能性を伸ばす意欲のある人

2. あらゆる役割の中でクラスを中心となり引っ張っていける人
3. 常に向上心を持ち、何事にも積極的に取り組むことのできる人
4. 他者の意見にも耳を傾け、良好なコミュニケーションをとることができる人
5. これまでの生活（高校生活など）をしっかりとおくってきた人

でした。

皆さんは、自分がこれらの望まれる姿のどれとどれに該当すると思われたでしょうか。そのことをこれから本学の教職員とともにしっかりと見つめながら追跡していこうではありませんか。

皆さんが受けた入学試験の体験授業に関する評価が、それぞれの学科の教員によって報告されています。例えば、現代美術と写真のコミュニケーション入学体験授業では、大変レベルの高い設定にも関わらず、高校生の果敢な挑戦が素晴らしかったと評価されました。それを見て、教員の方たちが、未来を創るみなさんを、渾身の力でサポートしたいと報告しています。

これから説明がありますが、本学では、入学前学習プログラムを実施します。共通課題や、学科やコース専門の課題を与えて、取りかかっています。

たいへん厳しい内容だとも思いますが、大学の入試に合格するということ、人生のゴールではないということ、最初にしっかりと理解してほしいということがその背景にあるのです。入試に合格してから、入学式を迎えるまでに、どのような努力を続けたかということが、皆さんそれぞれの未来を決めるものになることを知ってほしいのです。そして来年4月の入学式を迎えるまで、本学の教職員と、またこれからともに学ぶ仲間と、そして自分自身との対話を大切にしながら、学習を深めてほしいと思います。

本学は、さまざまな仕組みで、皆さんを支援します。皆さんは今、無限の可能性を持っています。これからの半年でしっかりと人間力を身につけた皆さんを、このキャンパス

に迎える入学式の日を楽しみにしながら、今日の開講式での私のお祝いの言葉といたします。

ありがとうございました。

尾池和夫